

インテリア計画（インテリア類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 3年
使用教科書	インテリア計画（実教出版）			副教材等	担当教員が配布するプリント

「インテリア計画」はどんな科目？

2年生で学習した「インテリア計画」の内容を踏まえて、より発展的にインテリアに関わる基礎から専門分野までの内容を幅広く取り上げています。それは専門的なことで構成するのではなく、インテリアに関する内容をより広い立場で取り扱い、私たちの生活との関連性を持つように内容が構成されています。

「インテリア計画」の学習の特徴は？

3年間で学習する「インテリア実習」、「インテリア製図」、「インテリアエレメント生産」、「インテリア装備」などのインテリアに関する科目のほかに「工業技術基礎」や「課題研究」などと関連を付け、学びやすいよう構成されている。

「インテリア計画」で大切なこと（留意点）は？

インテリア計画の学習を通して、皆さん一人ひとりが生活の質について考え、またインテリアに関する仕事や関連する資格等に興味を持つことができるような授業への取り組み姿勢が大切です。興味を持つことが内容をより深く理解し身につく一番の近道です。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第3章 インテリアの環境	インテリアの環境には、寒暖・明るさ・静けさ・空気の汚れなどの物理的な環境と、室内の内装・家具・装飾などの形態・色彩・配置などによる心理的な環境とがあります。
	5	第1節 屋外環境	
	6	第1 気候と風土 第2 気温と湿度 〈中間考査〉	
	7	第3 風と雨 第4 日照と日射 〈期末考査〉	
2 学 期	9	第2節 屋内環境	インテリア計画では、常にこれらの物理的環境と心理的環境を考察して、その要求に合うように環境を調整しなければならないことの必要性について学びます。
	10	第1 採光と照明 第2 音 第3 熱 第4 空気 〈期末考査〉	
	11	第5章 寸法計画と規模計画	
	12	第1節 空間の目的と規模 第2節 寸法計画 〈期末考査〉	
3 学 期	1	第3節 モデュラーコーディネーション	建築やインテリアで規模という場合は次のようなことを指しています。①物品の収納や配置、あるいは日常の起居振舞のために十分な空間の広がりがあること、②心理的に圧迫感のない空間の大きさがあることなどで、この規模や空間寸法の決定の仕方を学びます。
	2	第4節 グリッドプランニング 第5節 配置と動線 〈学年末考査〉	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	インテリア計画の各章で学ぶそれぞれの項目に対して、関心をもって意欲的に授業に参加し、一時間を大切に充実したものとしている。積極的に調べ学習をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備 ・課題提出 ・授業態度 ・出席状況
思考・判断・表現	インテリア計画を学習の総合的なまとめとした学習課題で独創的な思考と判断・表現が生かされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・挙手発言 ・ノート記述 ・質疑応答
技能	学習した内容を生かして望ましいインテリアを表現する。特に、ノートに表や図をきれいに丁寧にかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容 ・ノート記述
知識・理解	各章終了後の学習課題と学期末の考査の中で、学習したことの内容が理解されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・発表内容

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・学習課題
各章終了時に、その章で学んだことをモチーフに課題を出し、その中でどれくらい理解し、独創的にまとめているか。
- ・レポート
配布しているプリントの完成と授業ノートの作成をポイントとして評価します。
- ・定期考査
授業時の配布プリント・学習課題・応用問題の中から出題し、総合的に内容を理解し回答しているかを評価のポイントとします。

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

特に、毎時間の取り組みの態度、授業のノートづくりを大切にしています。